平成23年８月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年７月８日

上場会社名　マルコ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9980　　URL　http://www.maruko.com
代表者　　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)池田　豊治
問合せ先責任者(役職名)　取締役経理担当執行役員　　(氏名)森　篤美　　TEL　06-6233-5000

四半期報告書提出予定日　平成23年７月14日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成23年８月期第３四半期の業績(平成22年９月１日～平成23年５月31日)

(１)経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年８月期第３四半期	12,076	△6.2	△280	－	△247	－	744	－
22年８月期第３四半期	12,875	△10.0	△258	－	△259	－	△415	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年８月期第３四半期	24.43	－
22年８月期第３四半期	△13.63	－

(２)財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年８月期第３四半期	14,072	8,266	58.7	271.21
22年８月期	14,575	7,674	52.6	251.77

(参考)自己資本　　23年８月期第３四半期　8,266百万円　　22年８月期　7,674百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年８月期	－	2.50	－	2.50	5.00
23年８月期	－	2.50	－		
23年８月期(予想)				2.50	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　有

３．平成23年８月期の業績予想(平成22年９月１日～平成23年８月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	△8.2	30	△94.4	80	△85.2	900	－	29.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

４．その他（詳細は、【添付資料】３ページ「２．その他の情報」をご覧ください。）

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　有

②　①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年８月期３Ｑ	32,047,071株	22年８月期	32,047,071株
②　期末自己株式数	23年８月期３Ｑ	1,566,706株	22年８月期	1,566,646株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年８月期３Ｑ	30,480,384株	22年８月期３Ｑ	30,480,720株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】２ページ「１．当四半期の業績等に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（第３四半期累計期間） …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 10

１．当四半期の業績等に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国の経済は、これまで緩やかな回復基調にありましたが、平成23年３月に発生した東日本大震災による電力供給不安や風評被害など懸念すべき問題が多く、先行きは不透明感が強まり、情勢を見極めるには困難な状況で推移しました。

当社におきましては、東日本大震災による事業継続に支障をきたす重大な損害はなかったものの、業界を取り巻く環境は、この震災影響などにより雇用・所得環境への不安が一層高まり、生活防衛意識は更に強くなり、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社は、震災影響の懸念がある東北・関東地域の業績の落ち込みをカバーするため、早期に中部・近畿・九州地域を中心に積極的な販売促進施策を行い、新規顧客の獲得と顧客基盤の強化に重点を置き、顧客満足度の向上に注力し、収益の確保に努めるとともに、引き続き固定費の削減、合理化を推進してまいりました。また、ミドルエイジ層顧客への販売を強化するため、ミドルエイジ層専門店を２店舗出店いたしました。

これらの結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高120億76百万円（前年同期比6.2%減）、営業損失２億80百万円（前年同期は２億58百万円の営業損失）、経常損失２億47百万円（前年同期は２億59百万円の経常損失）となり、四半期純利益は、平成23年５月に厚生年金基金の代行部分（将来分）の国への返上について厚生労働大臣より認可を受け、厚生年金基金代行返上益を特別利益として22億17百万円を計上した結果、７億44百万円（前年同期は４億15百万円の四半期純損失）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における資産合計は140億72百万円となり、前事業年度末に比べ、５億３百万円の減少となりました。

流動資産合計は50億８百万円となり、前事業年度末に比べ、１億25百万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産の増加、現金及び預金の減少及び売掛金の減少の結果によるものであります。

固定資産合計は90億64百万円となり、前事業年度末に比べ、３億77百万円の減少となりました。これは主に、前払年金費用の増加、資産除去債務会計基準の適用に伴う建物の増加、繰延税金資産の減少、建物等の減価償却による減少及び差入保証金の減少の結果によるものであります。

当第３四半期会計期間末における負債合計は58億５百万円となり、前事業年度末に比べ、10億95百万円の減少となりました。

流動負債合計は47億16百万円となり、前事業年度末に比べ、２億２百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の増加、ポイント引当金の増加、支払手形の減少、未払法人税等の減少及び短期借入金の減少の結果によるものであります。

固定負債合計は10億89百万円となり、前事業年度末に比べ、８億93百万円の減少となりました。これは主に、資産除去債務の増加、退職給付引当金の減少及び長期借入金の減少の結果によるものであります。

当第３四半期会計期間末における純資産合計は82億66百万円となり、前事業年度末に比べ、５億92百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ、２億７百万円減少し、29億34百万円となりました。

当第３四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は３億45百万円（前年同期は６億８百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益16億36百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額２億75百万円、売上債権の減少１億34百万円等による資金の増加、退職給付引当金の減少９億87百万円、法人税等の支払額６億34百万円及び前払年金費用の増加３億20百万円等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は51百万円（前年同期は７億９百万円の増加）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入31百万円による資金の増加、新規出店・移転改装等に伴う有形固定資産の取得による支出41百万円及び差入保証金の差入による支出16百万円等による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は５億円（前年同期は14億65百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出２億47百万円、配当金の支払１億47百万円及び短期借入金の純減少90百万円等よる資金の減少によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成23年４月８日付けの「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通

期の業績予想を修正しております。本日別途公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．その他の情報

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ15,036千円増加し、税引前四半期純利益は276,273千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は328,440千円であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年５月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,934,248	3,141,365
売掛金	491,013	625,346
商品及び製品	896,406	685,143
原材料及び貯蔵品	119,661	196,769
その他	567,173	486,029
貸倒引当金	△344	△692
流動資産合計	5,008,157	5,133,962
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,130,479	3,181,832
土地	4,467,448	4,467,448
その他（純額）	194,508	238,208
有形固定資産合計	7,792,437	7,887,489
無形固定資産	218,514	249,546
投資その他の資産		
その他	1,055,871	1,307,199
貸倒引当金	△2,440	△2,440
投資その他の資産合計	1,053,431	1,304,759
固定資産合計	9,064,383	9,441,795
資産合計	14,072,541	14,575,758

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年５月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年８月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,191,416	397,872
短期借入金	1,400,000	1,490,000
1年内返済予定の長期借入金	283,864	318,864
未払法人税等	284,492	520,302
賞与引当金	90,000	138,262
返品調整引当金	13,000	17,000
ポイント引当金	530,000	415,000
資産除去債務	1,383	―
その他	922,734	1,621,792
流動負債合計	4,716,890	4,919,093
固定負債		
長期借入金	284,440	497,338
退職給付引当金	427,038	1,415,024
資産除去債務	325,392	―
その他	52,205	70,239
固定負債合計	1,089,075	1,982,602
負債合計	5,805,966	6,901,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,332,729	2,332,729
資本剰余金	2,195,452	2,195,452
利益剰余金	4,232,986	3,640,824
自己株式	△492,500	△492,492
株主資本合計	8,268,668	7,676,513
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	294	1,776
繰延ヘッジ損益	△2,387	△4,227
評価・換算差額等合計	△2,093	△2,451
純資産合計	8,266,574	7,674,062
負債純資産合計	14,072,541	14,575,758

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
売上高	12,875,249	12,076,323
売上原価	7,126,613	6,862,284
売上総利益	5,748,635	5,214,038
返品調整引当金戻入額	58,000	17,000
返品調整引当金繰入額	14,000	13,000
差引売上総利益	5,792,635	5,218,038
販売費及び一般管理費	6,050,762	5,498,881
営業損失（△）	△258,126	△280,842
営業外収益		
受取利息	2,166	441
受取配当金	262	233
受取手数料	38,256	35,896
業務受託料	－	18,000
不動産賃貸料	12,656	－
その他	6,335	11,257
営業外収益合計	59,676	65,829
営業外費用		
支払利息	50,162	22,904
不動産賃貸費用	－	6,802
その他	10,569	2,637
営業外費用合計	60,732	32,344
経常損失（△）	△259,182	△247,358
特別利益		
固定資産売却益	－	941
厚生年金基金代行返上益	－	2,217,460
貸倒引当金戻入額	3,105	347
その他	6	－
特別利益合計	3,111	2,218,749
特別損失		
固定資産売却損	149,963	－
減損損失	4,475	18,212
災害による損失	－	14,579
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	275,220
訴訟関連損失	61,199	－
その他	40,975	26,392
特別損失合計	256,614	334,405
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△512,684	1,636,985
法人税、住民税及び事業税	146,247	423,043
法人税等調整額	△243,476	469,377
法人税等合計	△97,229	892,421
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△415,455	744,564

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△512,684	1,636,985
減価償却費	260,808	208,982
減損損失	4,475	18,212
長期前払費用償却額	4,903	3,381
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,105	△347
賞与引当金の増減額（△は減少）	△117,976	△48,262
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△44,000	△4,000
ポイント引当金の増減額（△は減少）	79,000	115,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	574,571	△987,986
受取利息及び受取配当金	△2,428	△675
支払利息	50,162	22,904
有形固定資産売却損益（△は益）	149,963	△941
固定資産除却損	9,094	7,289
投資有価証券評価損益（△は益）	5,130	2,730
賃貸借契約解約損	21,920	241
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	275,220
災害損失	－	14,579
売上債権の増減額（△は増加）	59,344	134,333
たな卸資産の増減額（△は増加）	△408,926	△132,101
前払年金費用の増減額（△は増加）	－	△320,720
前払費用の増減額（△は増加）	5,961	△11,352
仕入債務の増減額（△は減少）	319,152	32,816
未払金の増減額（△は減少）	△20	△5,839
未払費用の増減額（△は減少）	178,001	90,933
前受金の増減額（△は減少）	85,642	20,017
未払消費税等の増減額（△は減少）	36,424	△53,841
その他	99,765	△6,685
小計	855,184	1,010,874
利息及び配当金の受取額	3,365	556
利息の支払額	△53,172	△22,650
訴訟関連損失の支払額	△63,729	－
法人税等の支払額	△135,131	△634,558
法人税等の還付額	1,727	483
災害損失の支払額	－	△9,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	608,243	345,025

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	－
有形固定資産の取得による支出	△33,209	△41,698
有形固定資産の売却による収入	391,307	830
有形固定資産の除却による支出	－	△15,172
無形固定資産の取得による支出	△23,437	△9,180
差入保証金の差入による支出	△10,982	△16,446
差入保証金の回収による収入	87,534	31,706
その他	△1,585	△1,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	709,627	△51,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△955,000	△90,000
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△551,232	△247,898
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,808	△14,991
自己株式の取得による支出	△58	△8
配当金の支払額	△148,378	△147,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,465,477	△500,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△147,606	△207,116
現金及び現金同等物の期首残高	3,158,828	3,141,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,011,222	2,934,248

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

区分	当第３四半期累計期間 （自 平成22年９月１日 至 平成23年５月31日）		
	金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
ファンデーション・ランジェリー			
（ボディスーツ）	2,118,524	14.7	69.1
（ブラジャー・ガードル等）	11,178,976	77.5	89.2
その他	1,128,570	7.8	92.3
合計	14,426,071	100.0	85.8

（注）１．金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
２．その他は主に、ストッキングとスイムウェアの金額であります。

② 仕入実績

区分	当第３四半期累計期間 （自 平成22年９月１日 至 平成23年５月31日）		
	金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
ボディケア化粧品・下着用洗剤等	260,316	89.8	64.0
健康食品	29,722	10.2	71.5
合計	290,039	100.0	64.7

（注）金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注状況

当社は、一部受注生産を行っておりますが、販売実績に占める受注販売実績割合の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

④　販売実績

1)　地域別販売実績

区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）		
	金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
北海道・東北・信越地区	1,305,505	10.8	95.3
関東地区	3,115,525	25.8	86.7
北陸・東海地区	3,242,564	26.8	101.3
近畿地区	1,669,188	13.8	101.6
中国・四国地区	163,436	1.4	95.9
九州・沖縄地区	3,110,102	25.8	97.0
合計	12,606,323	104.4	95.7
その他	△530,000	△4.4	174.3
総合計	12,076,323	100.0	93.8

（注）１．金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
２．その他は、ポイント引当金繰入額の金額であります。

2)　品目別販売実績

区分		当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）		
		金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
製品	ファンデーション・ランジェリー			
	（ボディスーツ）	1,806,977	15.0	87.6
	（ブラジャー・ガードル等）	8,507,320	70.4	101.4
	その他	977,791	8.1	90.8
	小計	11,292,088	93.5	98.0
商品	ボディケア化粧品・下着用洗剤等	1,192,864	9.9	79.5
	健康食品	121,370	1.0	78.7
	小計	1,314,234	10.9	79.5
合計		12,606,323	104.4	95.7
その他		△530,000	△4.4	174.3
総合計		12,076,323	100.0	93.8

（注）１．金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
２．製品のその他は主に、ストッキングとスイムウェアの金額であります。
３．その他は、ポイント引当金繰入額の金額であります。